

第4章. 上位・関連計画

第4章 上位・関連計画

4-1 上位・関連計画	4-2 上位・関連計画 まとめ
----------------	-----------------------

4-1 上位・関連計画

(1) 石岡市総合計画 基本構想

位置付け	石岡市のまちづくりの方向性を示す最上位計画
計画期間	令和4年度から令和13年度（10年間）
将来像	誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市
基本目標	<p>基本理念：「安全・安心」「魅力・発信」「対話・学び」</p> <p>SDGs共通テーマ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・少子高齢化・関係人口増加への対策 ・協働によるまちづくりの推進 ・情報通信技術の活用
公共交通に関する事項	<p>政策目標4 ■ 都市基盤・環境</p> <p>— 歴史ある都市、田園、里山が調和する魅力的なまち —</p> <p>の中で、都市部と既存集落を公共交通で結び「コンパクト・プラス・ネットワーク型」の都市機能施設の連携・機能分担を進める旨の記載がある。</p>
将来像	<p>将来像</p> <p style="text-align: center;">誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市</p> <p>基本理念</p> <p style="text-align: center;">「安全・安心」 「魅力・発信」 「対話・学び」</p> <p>SDGs共通テーマ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>11 人口減少対策 少子高齢化対策 関係人口増加への対策</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>17 協働による まちづくりの推進</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>9 情報通信技術の 活用</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">輝く「魅力向上」分野</p> <p>政策目標1 情報発信 政策目標2 歴史・観光</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">輝く「まち」分野</p> <p>政策目標3 安全・安心 政策目標4 都市基盤・環境</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">輝く「ひと」分野</p> <p>政策目標5 健康・福祉 政策目標6 子育て・教育・学び</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">輝く「暮らし」分野</p> <p>政策目標7 産業・経済 政策目標8 地域・文化</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">政策目標9 チャレンジする市役所（行財政改革大綱）</p>

第4章 上位・関連計画

4-1
上位・関連計画

4-2
上位・関連計画
まとめ

(2) 石岡市総合計画 第2期基本計画

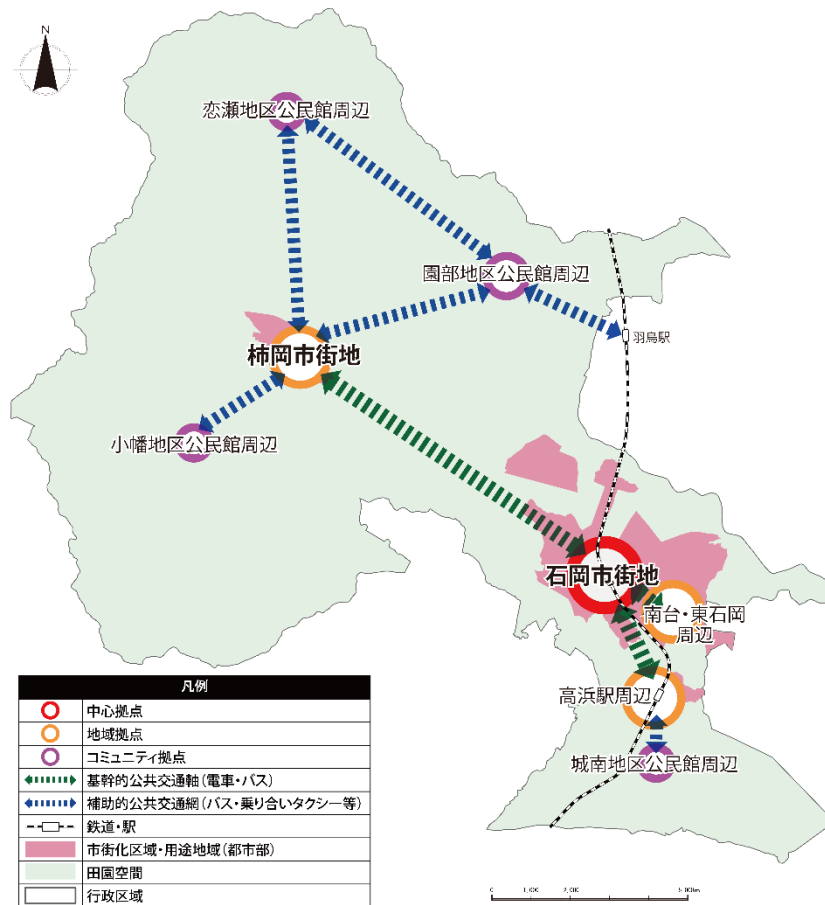
位置付け	基本構想実現のための施策の展開方向や成果指標、主な活動を分野別に示した、効果的・効率的で実効性の高い計画
計画期間	令和6年度～令和9年度（4年間）
市の方針	共生、共育、共働
公共交通に関する事項	<p>政策目標4 ■ 都市基盤・環境</p> <p>— 歴史ある都市、田園、里山が調和する魅力的なまち —</p> <p>基本施策3:交通ネットワークの整備</p> <p>【あるべき将来の姿】</p> <p>「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちづくりを支える交通施策により、交通不便地域の解消や、市民の利便性の向上につながり、持続可能な公共交通体系が構築されています。</p> <p>【成果指標】</p> <p>市内の主要公共交通機関の1日当たりの平均利用者数（路線バス、乗合いタクシー、鉄道）</p> <p>基準値（令和2年度）5,325人→目標(令和9年度)7,000人</p> <p>高齢者の運転免許返納件数(年間)</p> <p>基準値（令和2年度）245人→目標(令和9年度)350人</p> <p>【主要な取組み】</p> <ul style="list-style-type: none">・公共交通の利用促進 公共交通維持には市民の継続的な利用が必要です。そのために必要な情報発信と、市民の公共交通利用に対する意識の醸成を図ります。・公共交通機関の充実 公共交通軸の形成に向けて、拠点間の路線バスのサービス水準の向上を目指します。乗合いタクシーについては、運行区域を統合したことで生じた問題に対して、運行区域の見直しや、予約システムの改善を行い、利便性の向上を図ります。また、グリーンスローモビリティ等の「次世代交通システム」の活用に向けて、実証実験等を実施します。

第4章 上位・関連計画

4-1 上位・関連計画	4-2 上位・関連計画 まとめ
----------------	-----------------------

(3) 石岡市立地適正化計画

位置付け	都市再生特別措置法第81条に基づき、都市計画法第18条の2の規定により定める「石岡市都市計画マスタープラン」の一部とみなされ、関連計画等との連携や整合を図る。													
計画期間	平成31年度～令和20年度(20年間)													
基本方針	都市部と田園空間の連携・機能分担により、魅力ある居住地として選ばれる一体的なまちづくり(持続可能なまちづくりに向けた方針)													
目標・目標値	<p>(1)都市機能誘導に係る目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 都市機能誘導区域内における誘導施設の割合の増加 現況値:17.9%(2023(令和5)年) → 目標値:20.0%(2038(令和20)年) <input type="checkbox"/> コミュニティ拠点における公民館の立地数の維持 現況値:4館(2023(令和5)年) → 目標値:4館(2038(令和20)年) <p>(2)居住誘導に係る目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 居住誘導区域内の人口密度の維持 現況数値:26.2人/ha(2020(令和2)年) → 目標値:26.5人/ha(2038(令和20)年) 													
公共交通に関する事項	<p>■各拠点の方針</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">拠点</th> <th style="width: 55%;">誘導方針</th> <th style="width: 30%;">具体的設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心拠点</td> <td>本市の中心として医療、福祉、商業、文化等の多様な都市機能施設の集積を図るとともに、中心市街地の活性化に資する都市機能施設を誘導</td> <td>○石岡市街地</td> </tr> <tr> <td>地域拠点</td> <td>日常の暮らしを支える拠点として、都市機能施設の維持・充実を図るとともに、地域の特性に応じた都市機能施設を強化</td> <td>○柿岡市街地 ○高浜駅周辺 ○南台・東石岡周辺</td> </tr> <tr> <td>コミュニティ拠点</td> <td>既存の都市機能施設の維持や施設の更新等に合わせた再編や機能の複合化等を図り、暮らしやすいまちづくりを進める。</td> <td>○城南地区公民館周辺 ○園部地区公民館周辺 ○恋瀬地区公民館周辺 ○小幡地区公民館周辺</td> </tr> </tbody> </table>		拠点	誘導方針	具体的設定	中心拠点	本市の中心として医療、福祉、商業、文化等の多様な都市機能施設の集積を図るとともに、中心市街地の活性化に資する都市機能施設を誘導	○石岡市街地	地域拠点	日常の暮らしを支える拠点として、都市機能施設の維持・充実を図るとともに、地域の特性に応じた都市機能施設を強化	○柿岡市街地 ○高浜駅周辺 ○南台・東石岡周辺	コミュニティ拠点	既存の都市機能施設の維持や施設の更新等に合わせた再編や機能の複合化等を図り、暮らしやすいまちづくりを進める。	○城南地区公民館周辺 ○園部地区公民館周辺 ○恋瀬地区公民館周辺 ○小幡地区公民館周辺
拠点	誘導方針	具体的設定												
中心拠点	本市の中心として医療、福祉、商業、文化等の多様な都市機能施設の集積を図るとともに、中心市街地の活性化に資する都市機能施設を誘導	○石岡市街地												
地域拠点	日常の暮らしを支える拠点として、都市機能施設の維持・充実を図るとともに、地域の特性に応じた都市機能施設を強化	○柿岡市街地 ○高浜駅周辺 ○南台・東石岡周辺												
コミュニティ拠点	既存の都市機能施設の維持や施設の更新等に合わせた再編や機能の複合化等を図り、暮らしやすいまちづくりを進める。	○城南地区公民館周辺 ○園部地区公民館周辺 ○恋瀬地区公民館周辺 ○小幡地区公民館周辺												



【公共交通の方針】

都市機能施設の連携・機能分担を支える公共交通等の維持・充実

●基幹的公共交通軸

特性の異なる石岡地域と八郷地域とを結ぶ公共交通やBRT路線等の維持・充実を図り、地域内外の都市機能施設にアクセスしやすい公共交通環境を形成することにより、一体的なまちづくりを推進します。

●補助的公共交通網

石岡地域と八郷地域における、それぞれの市街地と既存集落とを結ぶ補助的公共交通網の維持・充実により、拠点間で都市機能施設を相互に補完し、住み慣れた地域で暮らし続けられる公共交通環境の形成に努めます。

4-1 上位・関連計画	4-2 上位・関連計画 まとめ
----------------	-----------------------

(4) 石岡市都市計画マスタープラン

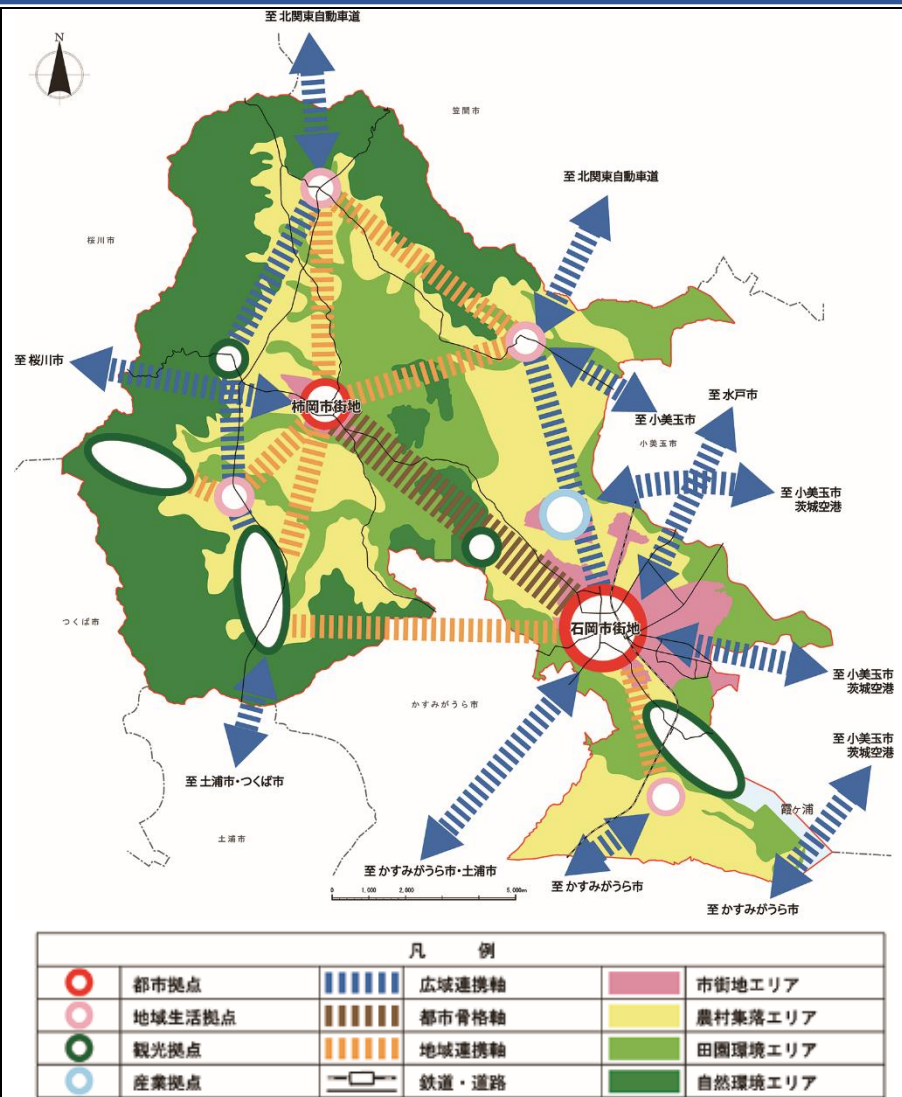
位置付け	総合計画や茨城県が定める都市計画区域マスタープランに即しながら、都市計画法第18条の2に規定されている都市計画に関する基本的な方針
計画期間	平成29年度～令和18年度(20年間)
将来像	自然・歴史が息づく コンパクトシティ いしおか
将来都市構造	「多核連携型の都市構造」・都市機能の集約による拠点性の向上と連携・交流を支えるネットワークの形成 ・自然環境・歴史資源等の保全・活用による都市の魅力・活力向上
公共交通に関する事項	<p>■公共交通の整備方針</p> <p>①鉄道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石岡駅は、本市の玄関口として、交通の結節点としての機能を果たすことが求められます。橋上改札化されたことで、今後、さらなる利用者の増加が期待されることから、駅前広場の整備や歩行環境の改善等、鉄道を利用しやすい環境整備を進めます。 ・ 駅周辺等中心市街地において駐車場整備を進め、中心市街地の利便性向上を図るとともに、パークアンドライド等への対応により鉄道利用を促進します。 <p>②バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスについては、鹿島鉄道線跡地を利用したBRT(バス高速輸送システム)の運行が開始されており、こうしたバスの輸送力強化や定時性・速達性等の機能向上を図ります。 ・ 都市機能や人口の集積する拠点間の連携強化、本市の南北間の移動手段の確保に向けて、都市施設の適正立地に係る検討に伴う地域公共交通網形成計画等により、必要なバス路線を検討し、公共交通空白地域の解消に努めます。 ・ 上記と合わせて、路線バスを補完し、交通弱者の移動に資する乗合いタクシー等、利用者ニーズに即したサービス向上により、バスの利用促進と持続的な運行を目指します。 <p>■都市環境の方針</p> <p>①観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光拠点へのアクセス性の向上や周遊観光の推進のため、アクセス道路や公共交通、レンタサイクル・サイクリングロード等の整備・充実を図るとともに、案内板の充実や周遊ルートの開発とPR等により、観光資源間のネットワーク化を進めます。

第4章 上位・関連計画

4-1
上位・関連計画

4-2
上位・関連計画
まとめ

将来イメージ



第4章 上位・関連計画

4-1 上位・関連計画	4-2 上位・関連計画 まとめ
----------------	-----------------------

(5) 地方創生石岡市総合戦略

位置付け	地方創生に関する基本的な計画
計画期間	令和6年度～令和9年度（4年間）
重点化テーマ	デジタルの力を活用して地方創生を目指す
基本目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 市の強みを活かした安定した雇用の創出 2 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる 3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる 4 時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る
公共交通に関する事項	<p>基本目標4.「時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る」</p> <p>講ずべき施策「2）都市基盤・交通ネットワークの整備」</p> <p>①コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくり推進</p> <p>石岡市立地適正化計画により、居住誘導区域を定め、人口減少の中にあっても人口密度を維持し、都市機能施設や地域コミュニティが接続的に確保されるよう、取組みを推進していきます。「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりに向けて、都市機能の集約化等を図るとともに、交通施策により、交通不便地域の解消や市民の利便性向上に努めます。</p> <p>【具体的な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交通対策事業 ・立地適正化計画に基づいた事業

4-1 上位・関連計画	4-2 上位・関連計画 まとめ
----------------	-----------------------

(6) 石岡市中心市街地活性化基本計画(第3期)

位置付け	中心市街地活性化の基本的な方向を示す計画
計画期間	令和3年度～令和7年度(5年間)
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活支援機能が享受でき、快適で安心して暮らせるまちづくり 2. 個性的な商業の活性化に加え、歴史的資源を活かした、様々な人々が行き交い賑わうまちづくり
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交流人口の増加 <ul style="list-style-type: none"> □ 目標値:歩行者交通量 現況数値:1,903人(令和元年度) → 目標数値:約2,800人(令和7年度) 2. 資源活用(石岡だから(宝))の実現 石岡オリジナルの事業・イベントの実現 地域資源の活用(町屋の修景化・店舗化など) <ul style="list-style-type: none"> □ 現況数値:11件(令和元年度) → 目標数値:15件(令和7年度)
公共交通に関する事項	<p>■ 駅周辺整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「施策体系①コンパクトな都市機能づくり」の事業 ・ 橋上駅舎や自由通路、駅前広場等の広域交通拠点の整備効果を活かすとともに、バスターミナル整備等のさらなる機能拡充を行うことで利便性の向上を図り、石岡市立地適正化計画に定める「コンパクト・プラス・ネットワーク」型のまちづくりを推進する。また、交流施設等の整備による生活基盤の維持や地域コミュニティの増進機能を強化することで、駅周辺の魅力向上や賑わいの創出、暮らしやすさを実感できるまちの実現を図る。 <p>■ ステーションパーク活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「施策体系③賑わいの導線づくり」の事業 ・ 駅舎改築により改札口と連結したステーションパークにおいて、イベントの開催等の企画を、学生等を含む横断型企画チームを組織し、検討した事業を各事業者が実施する。

4-1 上位・関連計画	4-2 上位・関連計画 まとめ
----------------	-----------------------

(7) 石岡市りんりんタウン構想

位置付け	自転車活用推進法に基づく計画として、自転車を活用したまちづくりの推進に関する施策を定めた計画
計画期間	平成31年度～令和10年度(10年間)
基本目標	<p>目標Ⅰ“暮らし”の中の自転車環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車が安全に走行・利用できる、道路及び駐輪環境を創出します。 ・ ルール・マナーの習得を含め、自転車が生活環境の中で身近な交通手段になるための意識共有を図る。 ・ スポーツや通勤など日常生活の中での交通手段として自転車が利用でき、健康増進につながるような環境づくりを推進します。 <p>目標Ⅱ“観光振興”における自転車活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源を周遊できるようなサイクリング環境を創出します。 ・ 近隣市等との広域連携を考慮したレンタサイクルの活用を推進します。 ・ サイクルフェスやツーリングイベント等により自転車利用の啓発活動を推進します。
公共交通に関する事項	<p>■施策 公共交通との連携強化</p> <p>市内には、バス等の公共交通の利用が不便である公共交通不便地域があります。自転車が公共交通不便地域における移動手段となるよう、バスや電車などの公共交通との連携を強化し、サイクルアンドライドを推進します。</p> <p>施策の指標: サイクルポートの設置数 (具体的な事業)・路線バス等との連携 ・サイクルポートの設置検討</p> <p>■施策 安全な走行環境の整備</p> <p>市民や市内に何度も訪れているサイクリストから、自転車の走行環境の充実に対するニーズが高い状況にあります。それらのニーズを考慮した自転車ネットワーク計画を策定するとともに、安全に走行・利用できる自転車通行空間の計画的な整備を図ります。</p> <p>施策の指標: モデル的自転車レーンの整備数 (具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車ネットワーク計画の推進 ・矢羽・注意喚起標示等の設置 ・モデル的自転車レーンの整備

第4章 上位・関連計画

4-1 上位・関連計画	4-2 上位・関連計画 まとめ
----------------	-----------------------

(8) 第2次石岡市観光振興計画

位置付け	観光の振興に関する施策を定めた計画
計画期間	平成31年度～令和10年度(10年間)
基本方針 目標数値	<p>1 魅力ある観光地域づくり</p> <p>□指標:観光入込客数 現況数値:1,183,000人 → 目標数値:1,750,000人(2028年)</p> <p>□指標:観光客の満足度(アンケート調査で満足と回答する割合) 現況数値:87.0% → 目標数値:87.0%維持(2028年)</p> <p>2 戦略的な情報発信</p> <p>□指標:発信情報の満足度(アンケート調査で満足と回答する割合) 現況数値:70.0% → 目標数値:80.0%(2028年)</p> <p>3 周遊観光の推進</p> <p>□指標:宿泊者の割合 現況数値:15.0% → 目標数値:20.0%(2028年)</p> <p>4 持続可能な観光産業の育成</p> <p>□指標:一人当たりの観光消費額(日帰り) 現況数値:4,286円 → 目標数値:5,200円(2028年)</p> <p>□指標:一人当たりの観光消費額(宿泊) 現況数値:12,077円 → 目標数値:13,200円(2028年)</p> <p>※現況数値:2022年</p>
公共交通に関する事項	<p>■施策 ユニバーサルデザインを取り入れた受入環境の整備 ④二次交通の充実</p> <p>石岡地区と八郷地区との周遊性を高め、市内の滞在時間を延伸するために、市内の二次交通の整備・充実を図ります。二次交通の整備にあたっては、レンタサイクルや公共交通(バス、タクシーなど)などといった様々な移動手段を整備し、市民や観光客が利用しやすいサービスを拡充させていきます。</p> <p>■施策 周遊できる環境づくり ①交通事業者との連携強化</p> <p>市内外の周遊性を高めていくためには、二次交通の充実が必要不可欠であることから、市内外の交通事業者との連携を強化していきます。路線バスだけでなく、様々な移動手段を検討し、観光客や市民が利用しやすい環境を構築していきます。</p>

4-1 上位・関連計画	4-2 上位・関連計画 まとめ
----------------	-----------------------

4-2 上位・関連計画のまとめ

上位・関連計画に示されるまちづくり及び公共交通の方針を踏まえ、「公共交通に求められる役割」は次のように整理されます。

計画	まちづくりの方針 (交通関連)	公共交通の方針
石岡市総合計画 基本構想	誰もが輝く未来へ 共に 創る石岡市(石岡市の将来像)	政策目標4 ■ 都市基盤・環境 —歴史ある都市、田園、里山が調和 する魅力的なまち—を実現するための 基本施策
石岡市総合計画 第2期基本計画	(同上)	基本施策 交通ネットワークの整備 ⇨公共交通の利用促進 ⇨公共交通機関の充実 ⇨公共交通の利用環境づくり
石岡市立地適正化 計画	■都市部と田園空間の連携・機能分担により、魅力 ある居住地として選ばれる 一体的なまちづくり	⇨石岡・八郷市街地間の基幹的公共 交通軸 ⇨石岡、八郷市街地と集落間の補助 的公共交通網
石岡市都市計画マ スタープラン	■多核連携型の都市構造 (将来都市構造)	【公共交通の整備方針】 ⇨石岡駅は、本市の玄関口として、交 通の結節点としての機能を果たす ⇨バス輸送力強化や定時性・速達性 等の機能向上 ⇨拠点間の連携強化、南北間の移動 手段の確保 ⇨交通弱者の移動に資する乗合いタ クシー等、利用者ニーズに即したサー ビス向上
地方創生石岡市総 合戦略	■都市基盤・交通ネットワ ークの整備	⇨コンパクト・プラス・ネットワーク型 のまちづくり推進
石岡市中心市街地 活性化基本計画 (第3期)	■交流人口の増加 ■資源活用(石岡だから (宝))の実現	⇨コンパクトな都市機能づくり ⇨賑わいの導線づくり
石岡市りんりんタ ウン構想	■“暮らし”の中の自転車 環境の整備 ■“観光振興”における自 転車活用の推進	⇨自転車が公共交通不便地域におけ る移動手段となるよう、バスや電車な どの公共交通との連携を強化し、サイ クルアンドライドを推進
石岡市第2次石岡 市観光振興計画	■魅力ある観光地域づく り ■周遊観光の推進	⇨市内の二次交通の整備・充実 ⇨市 内外の交通事業者との連携を強化

【公共交通に求められる役割】

役割①誰もが快適に移動できる交通手段の確保

役割②将来都市構造(多核連携型の都市構造)を支える公共交通体系の構築

役割③まちの賑わい創出への貢献

役割④人の交流の活性化への貢献